

アレルギー性結膜炎

■アレルギー性結膜炎とは

アレルギー性結膜炎とは、アレルギー反応により、目の充血やかゆみが起こる病気です。日本人のおよそ15~20%がかかっていると推定されており、近年その患者数はますます増えていると考えられています。

■アレルギー性結膜炎の分類

アレルギー性結膜炎には、花粉症として知られている「季節性アレルギー性結膜炎」、ダニやハウスダストなど1年を通して存在するものが原因となる「通年性アレルギー性結膜炎」、そして春から秋にかけて症状が悪化し、冬には良くなるということを繰り返す「春季カタル」などがあります。

■アレルギー性結膜炎の症状

季節性アレルギー性結膜炎、通年性アレルギー性結膜炎、春季カタルに共通する自覚症状として、「目がかゆい」、「ゴロゴロする」、「目やにが多い」などがあります。

季節性アレルギー性結膜炎は、毎年決まった時期に目のかゆみなどの症状がみられます。ほとんどはスギやヒノキなどの花粉による結膜炎で、患者の約7割が「アレルギー性鼻炎」もあわせて発症するといわれています。

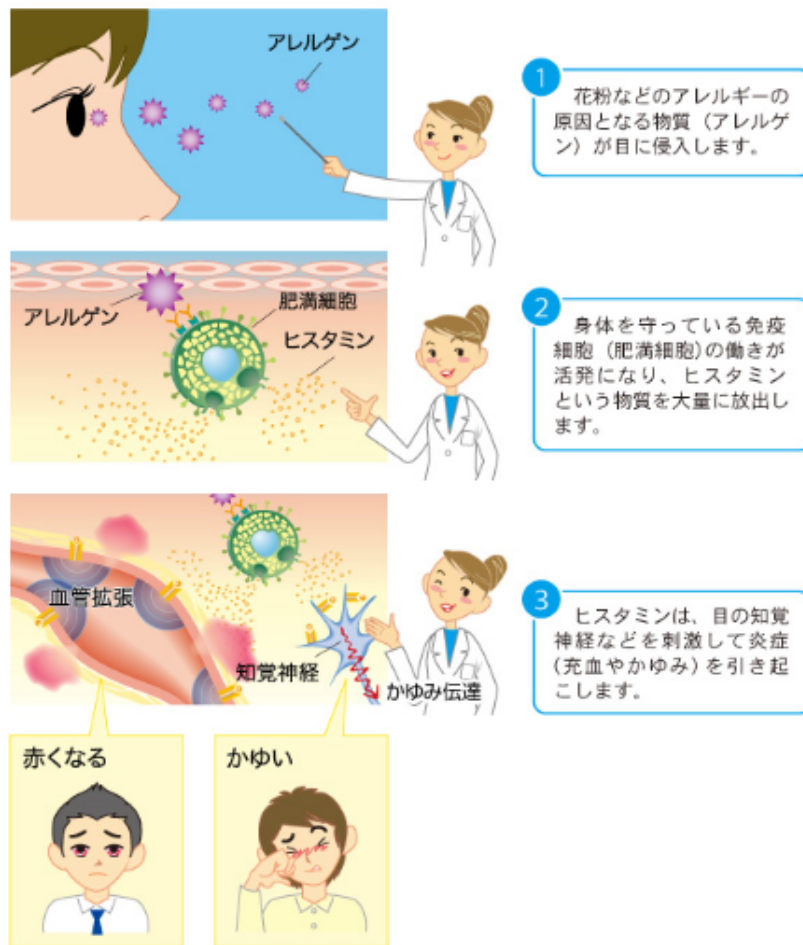
通年性アレルギー性結膜炎は、ダニやハウスダストなど、原因がほぼ年間通して存在するため、症状に季節性はみられず、慢性化しやすいといわれています。

より重症のアレルギー性結膜炎である春季カタルの場合は、結膜に石垣のような凸凹ができます。原因としてはハウスダストやダニが考えられますが、その他に花粉や動物のフケなど多種類のもので関わる場合も少なくありません。5歳くらいから発症し、学童期を通して慢性に経過します。発症するのは男児に多く、女児はまれといわれています。

思春期になると自然によくなることも多いようですが、アトピー性皮膚炎が合併している場合は、なかなか治りにくい傾向があります。

■アレルギー性結膜炎のしくみ

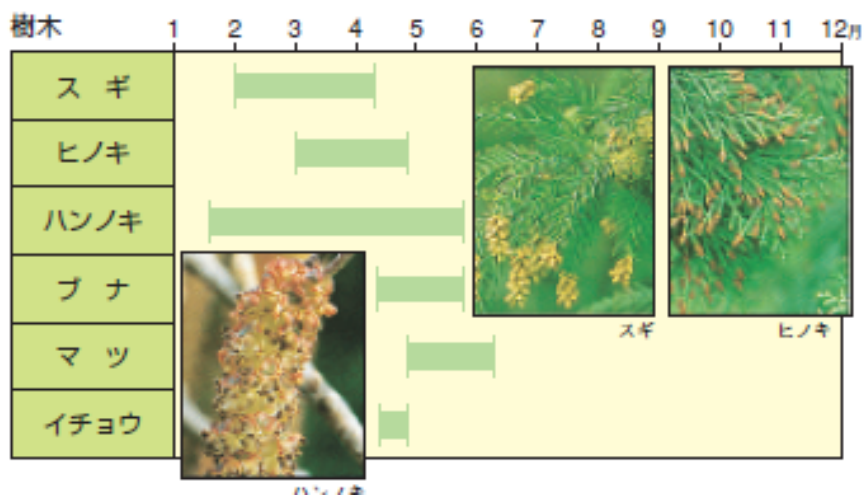
アレルギー反応が起こると、肥満細胞という細胞から、ヒスタミンなどの物質が大量に放出されます。これらの物質は、目の知覚神経や毛細血管などを刺激して、強いかゆみや充血などの炎症を引き起こします。

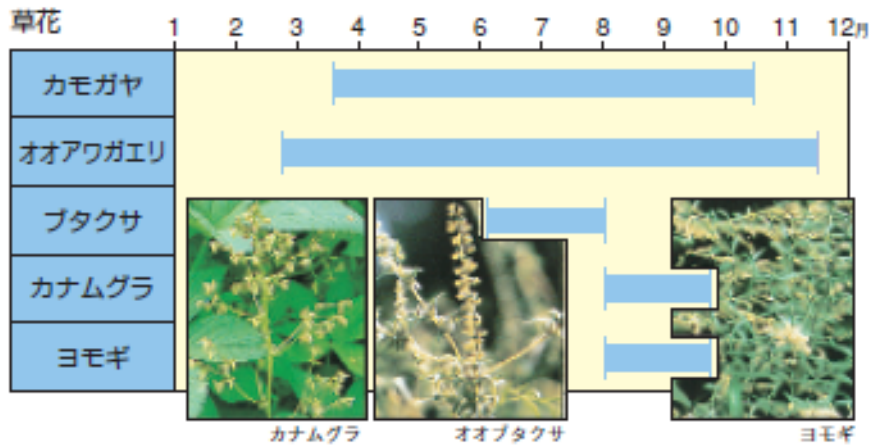


■アレルギー性結膜炎の原因物質

私たちの身体には、体内に入ってくる異物を排除しようとするはたらきがあり、このはたらきのことを免疫といいます。本来、花粉などは異物と感じないしくみになっているのですが、アレルギー体質だと異物と認識して、免疫反応がはたらいてしまいます。この過剰な反応のことを、アレルギー反応といいます。

〈花粉の飛散時期〉





■アレルギー性結膜炎の治療

アレルギー性結膜炎の治療は、薬物療法が中心となります。

通常、はじめに抗アレルギー点眼薬を使用し、それでも症状の改善がみられない場合はステロイド点眼薬を用います。春季カタルに対しても基本的には同じ治療を行います。よくならない場合は免疫抑制薬(めんえきよくせいやく)の点眼を用いる場合があります。

なお、季節性アレルギー性結膜炎である花粉症については、花粉が飛び始める2週間前くらいから抗アレルギー点眼薬の投与をはじめると、より効果的であるという報告もあります。

■アレルギー性結膜炎の対策

アレルギー性結膜炎の対策のポイントは、日常生活でできるだけアレルゲンに触れないことです。

花粉対策

- 外出時はメガネ、マスク、帽子を着用する
- 帰宅時に衣類や髪に付いた花粉を払い落とす
- 帰宅後は手洗い、うがい、洗顔を中心掛ける
- 洗濯物、布団は花粉を払い落としてから取り込む

ハウスダスト対策

- 掃除機でこまめに掃除をする
- ホコリが溜まりやすい場所は、濡れ雑巾などで拭く
- たたみやじゅうたんはダニが繁殖しやすいため、床はフローリングにする
- 布団は天日干しをする